

ニコチン依存症管理料算定医療機関における禁煙成功率の実態調査

■調査目的

- ・ ニコチン依存症管理料算定医療機関の実態把握
- ・ 禁煙治療の実施状況と禁煙成功率の把握

<調査のねらい>

■ニコチン依存症管理料算定医療機関の実態把握

- ・ どのような施設が届出しているか。
- ・ 1ヶ月間にどれくらいの患者に算定しているのか。

■禁煙治療の実施状況と禁煙成功率の把握

- ・ どれくらいの患者が最後（第5回）まで治療を続けられるのか、12週間の指導終了後には、どれくらいの患者が禁煙に成功しているのか。
- ・ 指導終了後の禁煙持続率はどの程度か。
- ・ 医療機関の規模、あるいは治療に関与する職員数によって禁煙の成功率は変化するのか。

■調査対象

○一次調査

<施設調査>

- ・ 全国の保険医療機関の中で、平成18年7月1日現在にニコチン依存症管理料を算定している施設から1,000施設を無作為に抽出し、調査対象とする。

<患者調査>

- ・ 上記の調査対象施設において、平成18年6月および7月の2ヶ月間に医療機関でニコチン依存症管理料の算定を開始した患者全員を対象とする。

○二次調査

- ・ 一次調査における患者調査対象者を調査対象とする。

■調査方法

○一次調査

<施設調査>

- ・ 自記式調査票の郵送配布・回収とする。調査票発送時期は12月とし、12月～平成19年1月に記入頂き、1月中に回収の予定。
- ・ 施設の概況および禁煙治療の状況について調査する。

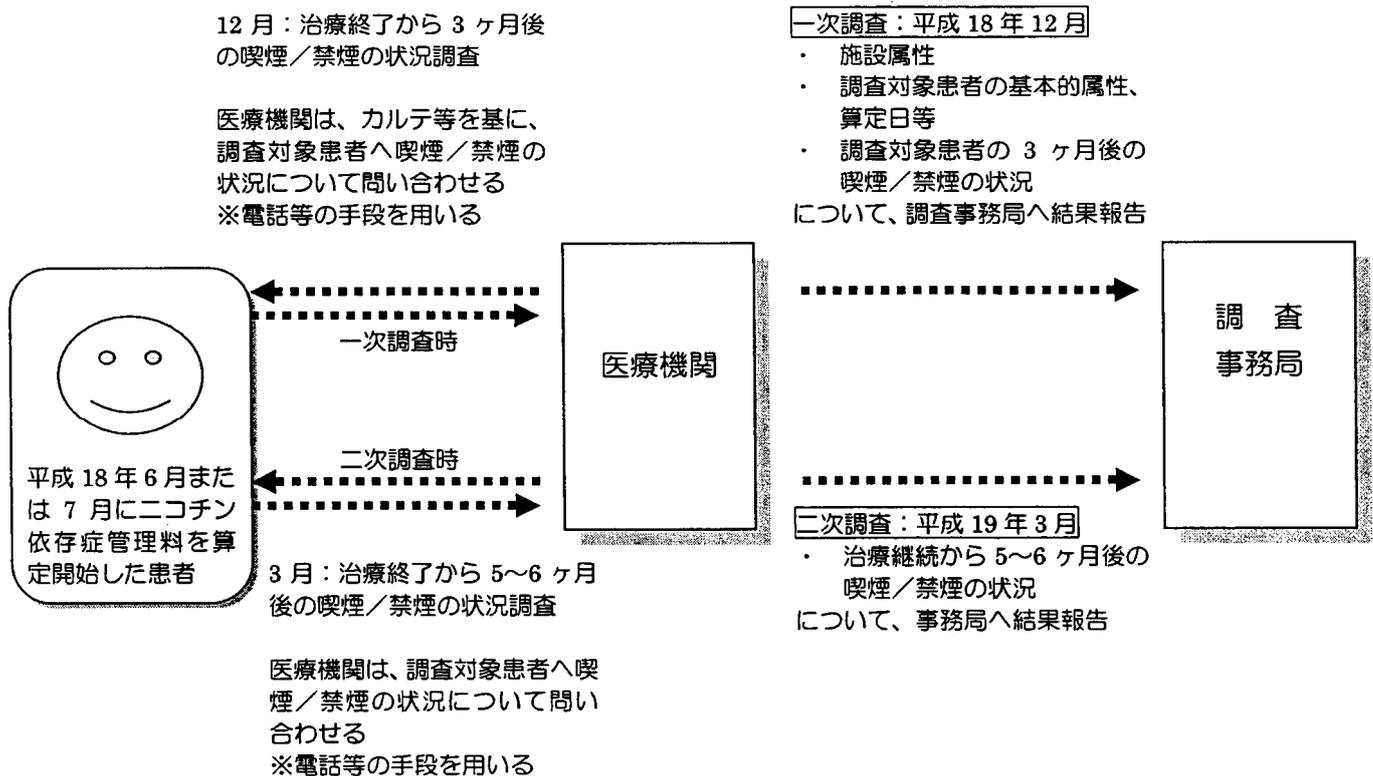
<患者調査>

- ・ 自記式調査票の郵送配布・回収とする。調査票発送時期は12月とし、12月～平成19年1月に記入頂き、1月中に回収の予定。
- ・ 性・年齢、喫煙年数等の基本情報、5回目までの算定日等の情報について、医療機関が患者の同意を得た上でカルテ等に基づき調査票に記入する。また、治療終了から3ヵ月後の患者の喫煙/禁煙の状況についても確認していただき記入する。
- ・ 医療機関においては、当該患者の追跡のため、患者ごとにIDを振り、追跡が可能となるようにしていただく。

○二次調査

- ・ 一次調査の患者調査対象者について、治療終了から5～6ヶ月目となる平成19年3月に、その時点での喫煙/禁煙の状況を医療機関側から再度尋ねていただき、調査票に記入の上返送いただく。

<調査実施スキーム>



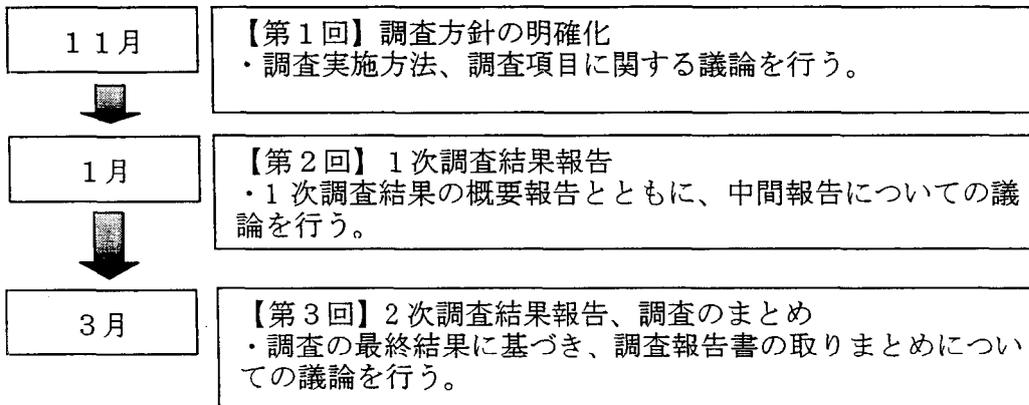
■調査項目

調査		項目
一次調査	施設調査	<ul style="list-style-type: none"> 施設概況（施設区分、所在地、一日平均外来患者数、開設主体、標榜診療科 等 施設基準の届出年月、禁煙治療の体制、禁煙治療に携わる職員数、平均指導時間、ニコチン依存症管理料算定患者数 等
	患者調査	<ul style="list-style-type: none"> 性、年齢、喫煙年数・本数、TDS 点数、算定状況、指導終了時の喫煙・禁煙の状況、3 ヶ月後の喫煙・禁煙の状況 等
二次調査		<ul style="list-style-type: none"> 指導終了 5～6 ヶ月後（平成 19 年 3 月時点）の状況

■調査実施スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査設計 ・調査票の検討、調査客体の選定等	→						
一次調査実施 ・施設調査、患者調査実施				→			
一次調査集計・分析						→	
二次調査実施							→
二次調査集計・分析							→
報告書作成						→	
※検討委員会開催			○		○		○

■検討委員会



以上